
真モンスターハンター

村上氏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真モンスターハンター

【Nコード】

N8631Z

【作者名】

村上氏

【あらすじ】

マサヤは、ヒビキ、ナオユキ、ナツキと共にクエストをこなしていく。

恋愛もあり!?

第1話

僕の名前はマサヤ、今日で18歳、ここカブコ村では一人前だ。

母「ほら、朝食しつかり食べてね。」

僕は少し急いで朝食を食べた。

何故なら今日はハンターの儀があるからだ。

ハンターの儀とは今年18歳となる者を集めハンターとする儀式だ。

僕の他には、友達のヒビキとナオユキとナツキという人らしい。

マサヤ「よし、行ってくる！」

僕は村長の家へと向かった

マサヤ「え〜とここらへんかな？」

僕は人目見てその大きさに気づいた

マサヤ「ここか、大きいな！」

マサヤ「失礼しまーす」

村長「おや、もう来たのか。」

僕が一番のようだ

村長「まだ他の者は来ていないようだな。」

マサヤ「じゃあ、他の三人を呼んできます。」

村長「おおそうか、よろしく頼むぞ」僕は三人を探しに向かった

第2話

マサヤ「よし！ヒビキの家にまず行こう」

マサヤ「え ところちだったな」

カプコ村は小さいのですぐにヒビキの家に着いた

マサヤ「ヒビキ」

ヒビキ「いま行く」

マサヤ「よっ！」

ヒビキ「よし！行こう！」

マサヤ「いや〜あと、ナツキとナオユキを探さない」と

ヒビキ「あっそれなら家近いから、ナツキー！」

ナツキ「はい」

ヒビキとナツキは家が近いので呼んだらすぐに来た

ナツキ「もう二人とも集まってたんだ」

マサヤ「よし、ナオユキを探しに行こう」

ナオユキ「おっ三人集まったのか！」

マサヤ「よし、皆集まったから村長の所に行こう！」

マサヤ& amp; ヒビキ& amp; ナオユキ& amp; ナツキ「ゴ

ー！」

ヒビキ「よし、行こう」

マサヤ「よし」

皆で村長のもとへ向かった

マサヤ「そういえば皆使いたい武器決めた？」

ヒビキ「僕は太刀がいいな」

ナオユキ「俺はランスだな」

ナツキ「私は弓かな」

ナオユキ「そうゆうマサヤはどうなんだよ」

マサヤ「僕は双剣だね」

そうこうしている間に村長の家に着いていた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8631z/>

真モンスターハンター

2011年12月28日02時54分発行